

10月のマラソン大会では、二十間道路を男子は10キロメートル、女子は6キロメートルを元気よく走り切りました。



一日体験入学

9月に実施した一日体験入学では、管内外の12中学校より121名が参加し、体験学習や部活動見学を行いました。

静内農業高校の諸活動



11月17日(火)からは2学年が3泊4日で見学旅行に行き、今年度は長崎県と福岡県を中心に九州地方を訪れました。

農業クラブ活動では、10月21日(水)から第66回日本学校農業クラブ全国大会(群馬大会)が行われ、3名の生徒が出場しました。また、11月26日(木)には1年間の各種農業に関する調査・研究活動の成果を発表する校内実績発表会を町公民館で行います。

今後は、12月12日(土)にクリスマスフェアを開催します。味噌・ソーセイジなどの加工品や、シクラメン、



マラソン大会



農業クラブ全国大会

ポインセチアなどの鉢花と野菜類の販売を予定しています。

また、12月15日(火)には「北海道静内農業高等学校学習成果報告会」を町公民館で行います。本校でキャリア教育の一環として実施している諸活動の成果を各学年の生徒が発表します。1学年は『職業調べ学習』、2学年は『インターンシップ』、3学年は授業の一環で実施している『デュアル派遣実習』の報告を終日実施します。校内実績発表会と同様に町民の方々にも公開いたしますので、ぜひご覧下さい。

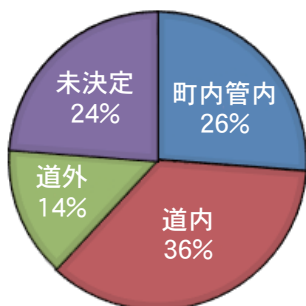
また、12月15日(火)には「北海道静内農業高等学校学習成果報告会」を町公民館で行います。本校でキャリア教育の一環として実施している諸活動の成果を各学年の生徒が発表します。1学年は『職業調べ学習』、2学年は『インターンシップ』、3学年は授業の一環で実施している『デュアル派遣実習』の報告を終日実施します。校内実績発表会と同様に町民の方々にも公開いたしますので、ぜひご覧下さい。

進路状況

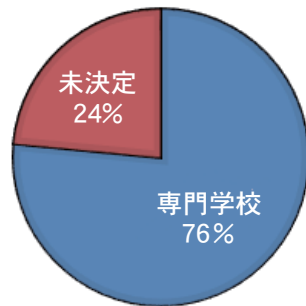
今年度の3年生就職決定状況は、食品科学科、生産科学科合わせて76%というところまでできました(11月12日現在)。今年度も町内管内はもとより、道内、道外を含め多くの企業から内定をいただくことができました。4月から始まった面接練習を中心とした進路活動に、一人ひとりが真摯な姿勢で取り組んだことが実を結びました。今年も、さまざまな機会が地域の皆様のご協力を得ながら、本校の進路活動を進めることができました。

日高管内唯一の農業高校として地域の基盤産業である軽種馬産産を支える人材のみならず、さまざまな職場で活躍することができるよう、今後ともご協力をお願いいたします。

就職



進学



次回の掲載は3月号です。(2/25発行)

町民に知ってもらおう！繋がろう！

わが町高校PR

※静内高等学校、静内農業高等学校の近況報告などを年4回掲載します。

シリーズ第3回 学校の状況 進路状況等近況報告

高校説明会の実施



10月28日(木)静内中学校、11月17日(火)静内第三中学校において、中学生の保護者の方を対象とした高校説明会に参加させていただきました。説明会では、本校での学習の在り方、卒業後の進路など、保護者の方にぜひ知っていただきたい情報をお伝えしました。更には、大学に進学する生徒の割合が30年前は約30%で、現在は55%に迫る勢いで、保護者の方が高校生であった頃と大きく異なっていることもお話ししました。この変化は進路に限らず、社会全般で起こることが予想されており、現在とは異なる社

大学の講義を体験

大学の先生をお招きして、本校生徒に講義をしていただく、恒例行事「大学体験講義」を11月5日(木)に行いました。今回は「脳からはじめる心の理解」「町の中の哲学」「私たちは何を描いて成長してきたか」「人工イクラを作ってみよう」など12講座が開講され、生徒たちはそれぞれ興味・関心のある講義を受講しました。はじめに行事の目的と意義を確認し、その後、1時間の講義を受け、最後に講義の内容、感想をレポートにまとめる体験でした。

身近な事柄が学びのきっかけになると同時に大学での研究対象になること、大学での研究成果が日常生活や社会に反映されていること、そして、卒業後の進路に関わらず、生涯学び続けるいく姿勢が大切であることを、この行事を通して生徒たちは学んだようです。

高校入試に向けて



大学体験講義「自然界から学ぼう」

本校生徒の8割は日高管内に進学、就職しており、その際、全国レベルでの学力の高い生徒や社会性を十分に備えた生徒と競い合わなければなりません。そこで本校は、①「目的意識を持ち、粘り強く学習を続けることができる」②

「部活動、生徒会活動、学級活動に積極的に挑戦し、熱中できる」③「向上心を持ち、アドバイスを耳を傾け、それを実践する」姿勢を、早い段階から意識して入学してもらうため、今年度入試から推薦要件を一本化するとともに、学校裁量問題を導入しました。どの高校に進学するにせよ、これらの姿勢はより良い人生を過ごすために極めて大切なものです。高校入試での合格だけを目標とするのではなく、未来を生きる力を身に付けていくため、小・中学校や家庭での生活を一層充実させ、本校から羽ばたいてほしいと考えております。



今年度高校入試合格発表の様子